

MaaS 事業について

- 1 令和4年度日本版 MaaS 推進・支援事業（国土交通省）
令和4年7月採択決定、9月議会で補正予算計上の予定。
- 2 事業の目的
高齢化が進む農村地域居住者の市街地への移動と買い物を支援するため、定期便運行による乗り合いタクシーを導入し、移動負担の軽減とともに、需要の把握を通じた生活交通の将来像構築へとつなげる。
- 3 これまでの経過
令和3年度1～2月 実証運行（降雪期の実証運行）
令和4年度6～8月 実証運行（非降雪期の実証運行）
- 4 今回の実証運行のポイント
 - ・他地域の需要を把握するため、実証地域を拡大
 - ・農村部タクシー助成利用者にコミタク利用を促す
 - ・Mカードとの連携
 - ・新たな自家用有償旅客運送の担い手の確保（調整中）
 - ・農村部でアンケート調査を実施し、地域住民の意向を確認する
- 5 実証運行期間
11月1日（火）～2月28日（火）
- 6 実証運行区域
上美生⇄市街地
- 7 実施主体 芽室町地域公共交通活性化協議会
- 8 実施内容
 - ・乗合型タクシーの定期便を運行
 - ・民間事業者と自家用有償旅客運送が共同で運行
 - ・買物代行サービスの実施